

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	便秘症治療薬フローチャートを用いた便秘症患者への介入効果の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 薬剤部 村松香保
研究実施体制	【研究責任者】聖隷浜松病院 薬剤部 村松香保 【研究分担者】 聖隷浜松病院 薬剤部 奥村知香 聖隷浜松病院 薬剤部 柏原道志
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026 年 12 月 31 日
対象者	2024 年 9 月から 2024 年 12 月までの間に聖隷浜松病院 B3 病棟に入院した便秘症患者さん
研究の意義・目的	便秘症はQOLを低下させる疾患で、生命予後には影響しないと考えられてきました。しかし、慢性便秘症患者では非慢性性便秘症患者と比較して、生存率が悪化したとされる報告があり、便秘症は積極的に治療すべき疾患となっています。近年、新規作用機序の便秘症治療薬が多く上市され、治療の選択肢の幅は広がっていますが、便秘症治療薬の選択は依然として経験によるところが大きいです。そこで、日本消化管学会が発行した『便通異常症診療ガイドライン2023 慢性便秘症』の中で新たに作成された診療フローチャートに基づき、当院採用の便秘症治療薬をフローチャート化しました。これにより経験によらず治療の均一性が保たれると考えられます。本研究では、フローチャート使用前後における便秘症患者の排便状況の変化を調査することを目的としています。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 年齢、性別、身長、体重、BMI、併用薬、治療内容、経過表、薬剤管理指導記録、ブリストル便形状スケール 【主要評価項目】 チェックシート使用前後の排便状況の変化(ブリストル便形状スケール、CSS)について比較します。 【副次的評価項目】 排便コントロールの目標達成率、下痢の発生率
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 (氏名)村松 香保 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日